

マテリアリティ	中長期の目指す姿	2025年度以降の主な取り組み	指標
成長戦略	1 パイプラインの強化	<ul style="list-style-type: none"> トップサイエンティストと協働して世界を変える新薬づくりを加速し、新薬候補のPOC確立のスピードと精度を向上させるとともに、ライセンス活動によりパイプラインが拡充している。 	<ul style="list-style-type: none"> オープンイノベーションによる独創的な創薬シーズの探索や新薬候補の創製 最適モダリティの選択、人工知能(AI)の活用などによる研究スピードの向上 AI、インフォマティクスなどの最新テクノロジーや患者由来サンプルを利用したヒト疾患バイオロジーに基づく創薬研究の推進 作用機序に基づくバイオマーカーを活用したトランスレーショナル研究(TR)*の推進 <ul style="list-style-type: none"> 基礎と臨床の橋渡し研究 重点研究領域を中心とした、世界トップクラスの研究者との共同研究およびバイオベンチャー企業との研究・創薬提携の推進 Ono Venture Investment, Inc.の戦略的投資を通じた、創薬・研究開発における競争力強化 革新的医薬品につながる知的財産の創出、維持 提携案件および導入品の評価における市場と事業情報の統合的解析による知財情報の活用(IPランドスケープ) POCの早期確立 <ul style="list-style-type: none"> ～最適な実施体制の追求～ POCの成功確率を高める戦略的な開発計画の立案 <ul style="list-style-type: none"> ～TRの強化による代替指標の活用とデータ収集～
	2 グローバル事業の拡大と加速	<ul style="list-style-type: none"> 世界で闘えるスペシャリティファーマとして、グローバルでの事業拡大を加速している。 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米の開発・販売事業をデサイフェラ社へ統合することによるグローバル展開の推進と加速
	3 製品価値最大化	<ul style="list-style-type: none"> 患者さんとそのご家族のウェルビーイング実現に医療従事者とともに挑み、その結果として新薬が速やかに浸透している。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的なマーケティング活動、情報提供へのデジタル活用、MRの専門性向上 効能・効果(用法・用量)の最大化を目指した申請戦略の立案および実行 製品および開発品のライフサイクルマネジメントにつながる発明創出プロセスの強化と特許出願
	4 事業ドメインの拡大	<ul style="list-style-type: none"> デジタルや当社の強みを活用し、社会課題の解決、次世代ヘルスケアの実現に貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の未解決課題(ニーズ)を起点とした、デジタルを活用した新規事業の創生・推進 ヘルスケア分野の社会課題解決のためのエビデンスに基づいた商品やサービスの開発・商品化(小野薬品ヘルスケア株式会社) ヘルスケア課題の解決を目指す事業に取り組むベンチャー企業への投資、事業創成(小野デジタルヘルス投資合同会社) 新規事業開拓における市場と事業情報の統合的解析による知財情報の活用(IPランドスケープ)
成長戦略 推進のための基盤	5 デジタル・ITによる企業変革	<ul style="list-style-type: none"> セキュアなグローバルIT基盤を整備とともに、デジタルによる企業変革を実現している。 	<ul style="list-style-type: none"> DXビジョン・戦略の推進 グローバル事業インフラの整備 デジタル・ITによる業務基盤の強化

マテリアリティ	中長期の目指す姿	2025年度以降の主な取り組み	指標
成長戦略 推進の ための基盤	<p>6 人的資本の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業理念・ビジョンの実現に向けた人財戦略に基づき、事業の成長に資する人財の採用と育成、そして多様性の向上と一体感の醸成につながる組織風土の実現に向けて取り組みを進めている。人財を惹きつける制度・施策が定着しており、かつ全ての社員が安心・安全に働くことのできる環境が提供されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代経営人財：人財開発会議を通じた研修および戦略的人事異動の推進 グローバル人財：グローバル事業を担う人財の育成に向けた研修および人事異動の実施 デジタル人財：デジタルトランスフォーメーションを企画・牽引する人財の育成、研修プログラムの実施 イノベーション人財：イノベーションを起こすためのプログラムの提供、変革の推進 その他：グローバルでのミッションステートメント研修、DE&I推進施策、自己啓発学習補助制度等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代経営人財プール数：2026年度目標：250人以上 グローバル人財プール数：2026年度目標：300人以上 DXプロジェクトに参加して活躍できる人財数：2026年度目標：500人以上 DXプロジェクトを企画・管理・遂行できる人財数：2026年度目標：200人以上 中核的なイノベーション人財：2026年度目標：180人以上
	<p>7 地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 人々が健康で健全な社会を迎えらるるよう、「ECO VISION 2050」のもと、製薬業界における環境リーディングカンパニーを目指し、次世代へ豊かな地球環境を引継ぐことに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量の削減および全消費電力に占める再生可能エネルギー利用率の向上 効率的な水資源の利用と水質汚染リスクの低減 不要物の再資源化 	<p>「ECO VISION 2050」に紐づく中長期環境目標の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会の実現 スコープ1+2排出量を73%削減(2017年度比)、購入電力に占める再エネ利用率100% 水循環社会の実現 水資源の効率的な利用、排水の水生生物影響評価100%実施(対象拠点：自社工場・研究所) 資源循環社会の実現 不要物の再資源化率60%
持続可能な 社会の実現	<p>8 社会的信頼の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質保証および安全管理の業務を適正に行うとともに、患者さんに当社製品を安定的かつ継続的に改善しながら供給する。 国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づいたマネジメントを実践とともに、ビジネスパートナーのサステナビリティ関連リスクを把握し、持続可能な社会の実現を目指して共に取り組んでいる。 希少疾患や小児疾患に対する革新的医薬品の提供と医療インフラの未成熟な地域での医療基盤整備に貢献する。 	<p>品質保証、安全管理、安定供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品の品質および安全管理体制に関する適切なグローバル体制の構築 米国Tirabrutinib上市に向けた、米国向け製品の査察対応体制の整備 不確実性に対応可能な安定供給体制の構築 <p>当社事業に関する多くのパートナーとの関係構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジネスパートナーに対するサステナブル調達コードの同意書取得、リスクアセスメントと現地監査の実施 <p>人権リスクマネジメント(～2026年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社グループの人権デューディリジェンスの実施 人権に関する社員教育の実施 <p>医療アクセスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> アンメットメディカルニーズの高い希少疾患や小児適応に対する新薬開発・適応拡大 NPO/NGOとの協業による医療インフラ未成熟地域のローカルキャパシティビルディング支援 	<p>品質保証、安全管理、安定供給</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバルな品質保証/安全管理体制の構築 規制当局査察による重大な指摘ゼロ 当社製品回収ゼロ 欠品発生ゼロ <p>当社事業に関する多くのパートナーとの関係構築(～2026年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 強固なリスク管理体系の構築(方針、サステナブル調達コードの制定、体制確立) 高リスク分野の企業に対する包括的評価の実施 <p>人権リスクマネジメント(～2026年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社グループの人権デューディリジェンスの実施の有無 人権に関する社員教育の実施の有無 <p>医療アクセスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 希少疾患/小児適応の承認取得数 プロジェクトのアウトカム目標
	<p>9 ガバナンスの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス違反の未然防止を実現するコンプライアンスリスク管理体制の確立など、持続的な成長を実現するための実効性あるガバナンス体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスを含めたグローバル対応の全社的リスクマネジメント(ERM)の確立 製薬事業の関連法令・規制の遵守、適正使用の推進、腐敗・汚職防止、情報の保護等 コンプライアンス違反の未然防止に主体的に関わる文化の醸成 取締役会によるガバナンス強化 <p>成長戦略の進捗等を踏まえた取締役会の議題設定や付議基準の見直し (付議基準の適正化による意思決定の迅速化、経営環境の変化に対する監督機能の強化)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重大なコンプライアンス違反件数 <p>取締役会実効性評価を通じた運営改善</p>